

広報

かいわら

発行所 河内村役場 編集 総務課広報係 TEL (河内)3番・44番
発行日 昭和44年2月1日 印刷所 龍ヶ崎印刷所

人口と世帯数...

人口… 12,509人

男… 5,899人

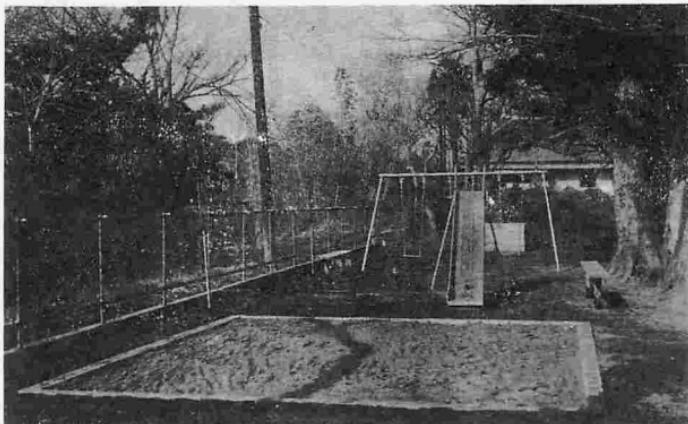
女… 6,610人

世帯… 2,459戸

(2月1日現在)

ちびっ子広場完成

源清田新組部落に



源清田の保村、遠下、高の三部落の子供たちで結成されている新組子供会がありますが、今度この子供会に後援会（会長、田中喜太郎）が発足し、最初の仕事として、ちびっ子広場を造り、地元のみなさんから感謝されております。場所は、河内郵便局前の稻荷神社の境内で子供たちの遊び場としては、最適なところと思われます。

費用は、遊具等の工事が8万円（村補助5万円、地元負担3万円）でまわりの柵が地元議員さんの寄付によってつくりました。

1969

2月号

No. 73

暖かい風のない日に、遠くの景色を見るとゆれてみえることがあります。私たちは、これを陽炎（かげろう）とよんでいます。春になると、太陽の光が強くなり、地面を暖めます。すると、まわりの空気もいっしょに暖まって目にみえない小さな空気のつぶができる、この空気のつぶは軽いので空へのぼって行きます。ところが、空の上のはうには、重くて、めいたい空気が広がっていて、のぼってきた軽くて暖かい空気のつぶとぶつかります。この二つがぶつかり合っている空気の層に、太陽の光が射し込むと、光の線は曲がったり反射したりします。だから、私たちの目には、遠くの山とか、林がニラニラとゆれてみえるのです。

陽

炎

臨時

村議会から

▲議案第8号▽

▲議案第14号▽

河内中生徒会

社協へ献金

河内村消防条例の一部を
改正する条例

河内中学校生徒会長斎藤貞

2

河内村議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

消防隊員の報酬も一月一日から改正されました。

議長 二六、〇〇〇円

副議長 二四、〇〇〇円

議員 一二二、〇〇〇円

調査長 タ 一三、〇〇〇円

分團長 タ 八、〇〇〇円

技術者 ク 四、〇〇〇円

精薄見に社團募金と合せて、

一人千円づつ、十三人に配布

されました。

河内村教育の給料、旅費

八議案第9号▽

その他の給与に関する条例の
河内村医、区長、統計調

査員等の報酬及び費用弁償に
する条例

各委員の報酬が、本年一月

一日から次のように改正され

ました。これによると、高等

学校卒の初任給は、一万九千円

百円となります。

河内村職員の給与及び常勤

条例等の一部を改正する条例

村の一般職の給与が昨年七

月一日にさかのぼり改正され

ました。これによると、高等

学校卒の初任給は、一万九千円

百円となります。

河内村職員の給与及び常勤

条例等の一部を改正する条例

のものの給与及び旅費に関する

る条例の一部を改正する条例

村長、助役、収入役の給与

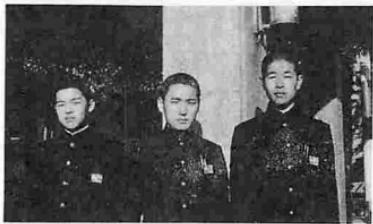
が改正されました。適用は、

一般職同様交付金によりこま

れている関係上、七月一日に



（会長の三吉格太郎さん）



社会福祉協議会に献金された代表者の皆さん

河内村特別職の職員で非常

村長 一〇〇,〇〇〇円

助役 八八,〇〇〇円

収入役 八〇,〇〇〇円

△議案第7号▽

○報酬審議委員会の委員

委員 日額一、〇〇〇円

○国民健康保険運営協議会の

会計補正予算

△議案第10号▽

これは、会員五十二名が各

職員の給与

及び特別職の給与報酬等の

改定に伴なう人件費の追加が

あります。

あり、一千九十五万八千円の

追加補正で、総額二億八万三

千円となりました。

戸より集めたお金で、社会福

祉のため、寄付されたもので

あります。

（会長の三吉格太郎さん）

所得税の確定申告

竜ヶ崎税務署から

例年のように二月十六日から、所稅の確定申告書の受付がはじまります。

確定申告書は、一年間の所得と、それに対する税額を自分で計算して、税務署に提出することになります。

竜ヶ崎税務署としては、農業所得者については各町村毎に、營業所得者についてはプロツク毎に係員が出現して相談に応することになります。

A、確定申告をしなければならない人は、昭和四十三年中の所得金額が、基礎控除や配偶者控除、扶養控除などの適用を受けられるすべての所得控除の額をこえる人です。

B、確定申告の際、申告書に添付したり提示してもらう書類は、あらかじめ用意して下さい。

C、確定申告の義務のない人で、源泉税額の還付を受ける人は提出しなければなり

B、確定申告の際、申告書に添付したり提示してもらう書類は、あらかじめ用意して下さい。

①、災害や盜難により、住宅や家財などに損害を受けたため、賠償控除を受ける場合の損失額や、受け取った保険金の明細書、医療控除を受ける場合の支払った領収書。

②、小規模企業共済掛金の掛け金額の証明書。

③、生命保険料の控除を受けた契約について九千円をこえるものとときは、その保険料額の証明書。

④、損害保険料の額の証明書

⑤、給与所得のある人は、勤務先から受け取った、源泉徴収票。

⑥、土地建物など交換したり買え換えたり、収用したなどとの特例を受ける場合の計算の明細書などを。

○時間
2月27日 午前九時～午後三時三〇分
○申告受付日と地区
2月26日 長竿・長竿農協
金江津・青年研修所

○時間
2月27日 午前九時～午後三時三〇分
○申告受付日と地区
2月26日 砂場、北河原
宿、西、開場、中道、幸谷

○時間
2月27日 午前九時～午後三時三〇分
○申告受付日と地区
2月26日 丸田、小巻、堀割、淨玄、三ツ谷、四ツ谷

○時間
2月27日 午前九時～午後三時三〇分
○申告受付日と地区
2月26日 五日までですが、期限までに申告と納税をしないと、無申告算税や延滞税など余分な負担をしなければなりませんから、期限内に忘れずにお願いいたします。

今年もまた、
村県民税の申告

今年もまた、
竜丁歩、藤藏、

出初式

今年も例年の出初式が一月

3月3日 中曾根、古通、新橋、羽子

7日金江津小学校において力

3月4日 騎、古河林、手栗

強く行なわれました。

3月5日 上組、中上、愛宕町、中郷

この日、寒い季節風の吹き

庄布川、十里

さざなが、多數の来賓を迎

3月6日 布鍊、平三郎、猿島、宮淵

え、二十名、五百二十五名

3月7日 下組、荒地、大境、下町歩

の組員は、服装、機械器具の点検などを行ない、永井勤続

3月10日 平川、十三間戸

組員など優良組員を表彰、会

3月11日 中金津、下金江津

場を利根川原にうつし、放水

3月12日 上金江津、排水機

式を行なった。

3月13日 片巻、和銅谷、流作

田川、下加納

3月14日 くわしくは、役場税務課で

おたずね下さい。

3月15日 電話(農集)七八六一

選挙人名簿への登録は(三月一日までに)

今すぐに行き

○満二十才に達した人で、まだ登録の申出をしていない方(昭24・3・2以前に生れた人)は、今すぐ役場

又は支所へお出かけください。

—3—



やめよう!! シンナー乱用

なくそう!!

学生、生徒にとって卒業期は、進学、就職など人生の転機を画す重要な時期となります。このようなときには、とかく将来に対する不安や焦燥感から精神的安定を失くすのが常なり、このような状態からのがれるため家出、無断外出泊や深夜飲食店などへの出入りなどの行動に走りがちであります。

また、今年は昨年未問題となつて、関係機関、団体などが加わり、これに起因した非行や死亡事故の多発が憂慮されます。少年によるシンナー乱用については、関係機関、団体などの各種防止活動があちかつて大きな力となり漸減の方向をみせているが、昨年都内でシンナーなどの乱用によって補導された少年は一万人を越え、また、乱用による死亡事故も一月から十二月二十日まで、二十三人（全国百五人）にぼつています。

このシンナーなどの乱用が問題とされているのは、これら若い世代が、毒性的の強いシ

ンナー、接着剤の氯化ガスを吸引し、その薬理作用により心理的統制機能を失なって、窃盗や粗暴犯、性犯などの非行を犯す。あるいは、精神障害や内臓の機能を損ない、ときには死んでしまうなど、非行停止および国民保健の面から好ましくない結果を招きます。

しかし、シンナー、接着剤そのものは、元来塗料を溶かし、または物を接着するという目的をもって文化生活に寄与が加わる、乱用者のためにかつてのヒロボンややすい臍糞のように製造販売などの面で法的に規制を加えることは多くの問題があります。これが防止対策上の一歩路となっています。

そこで、この乱用防止を図るために、この時期をとらえ、次のことがらを望みます。

1、保護者に望みたいこと
イ、乱用の動機は、友達に誘われる好奇心から始めることが多いので、特に交友関係に注目して、乱用による死亡事故を防ぐための措置をとる。このことから、乱用による死亡事故を防ぐための措置をとる。

2、学校に望みたいこと
イ、シンナー、接着剤乱用による有害性を児童生徒によく教える。

II、乱用の動機は、友達に誘われる好奇心から始めることが多いので、特に交友関係に注目して、乱用による死亡事故を防ぐための措置をとる。

3、販売者に望みたいこと
ニ、シンナー、接着剤を使用している事業所では、従業員などこれを持ち出し乱用しないよう、その管理には十分注意するほか乱用による危険防止についてよく指導する。

4、地域社会に望みたいこと
イ、シンナーなどの乱用は、土曜は毎日となつたのです。又、慶應四年の三月十四日には、五カ条の御誓文が発布されおりました。この五カ条の御誓文は、新しい政府の方